



NANA
MOUSKOURI

Classic

- 1 フィールド・オブ・ラヴ [2:40]
(オフエンバック：歌劇《ホフマン物語》より)

FIELDS OF LOVE

(From the opera: Les Contes d'Hoffmann)
Jacques Offenbach (1819-1880)
(Arr. A. Goraguer / Y. Ludwig)
Sung in English
Publishing : Raoul Breton

- 2 愛のジプシー [3:00]
(ヴェルディ：歌劇《椿姫》より)

L'AMOUR GIPSY

(From the opera: La Traviata)
Giuseppe Verdi (1813-1901)
(Arr. A. Goraguer / C. Lemesle)
Sung in French
Publishing : Raoul Breton

- 3 その灯り [4:05]
(チャイコフスキー：歌劇《スペードの女王》より)

TO FOSS AFTO

(From the opera: La Dame de Pique)
Petr Ilitch Tchaikovsky (1840-1893)
(Arr. A. Goraguer / A. Dimitrouka)
Sung in Greek
Publishing : Raoul Breton

- 4 サンクトゥス [3:25]
(ラミレス：《ミサ・クリオージャ》より)

SANCTUS

(Carnaval - Cochabambino / Misa Criolla)
Ariel Ramirez (1921-)
Sung in Spanish
Publishing : Pigal Ediciones Musicales

- 5 風よ南へ吹け [3:00]
(北イングランド伝承歌)

BLOW THE WIND SOUTHERLY

(A traditional tyneside air from Northern England. The words are based on a fragment found in the Bishoprick Garland)
(Arr. J. Sakel)
Sung in English
Publishing : Raoul Breton

- 6 天使のパン [3:30]
(フランク)

PANIS ANGELICUS

César Franck (1822-1890)
Arranger : (Arr. A. Goraguer)
Sung in Latin
Publishing : Raoul Breton

- 7 モーツァルトの子守唄 [3:15]
SCHLAFE MEIN PRINZCHEN

Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)
(Arr. J. Johns)
Sung in German
Publishing : Raoul Breton

- 8 月光ソナタ [3:55]
(ベートーヴェン：ソナタ 作品27より)

CLAIR DE LUNE

(From the Sonata opus 27)
Ludwig Van Beethoven (1770-1827)
(Arr. A. Goraguer / P. Delanoë - C. Lemesle)
Sung in French
Publishing : Raoul Breton

- 9 戦勝をもたらす聖母に [4:10]
(セルギオス、7世紀ギリシャ)

TIPERMAKO

(Akathistos ymnos)
Composed by : Patriarch Sergios
(VIIIth century)
(Arr. Y. Ludwig)
Sung in Greek
Publishing : Raoul Breton

- 10 喜びの歌 [4:00]
(ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》より)

COME AND SING

(Symphonie No.9)
Ludwig Van Beethoven (1770-1827)
(Arr. Y. Ludwig / C. Lemesle)
Sung in English and German
Publishing : Raoul Breton

- 11 青春はどこへ [2:40]
(ブラームス：ピアノ三重奏曲第1番より)

OÙ VA LA JEUNESSE

(Trio No.1)
Johannes Brahms (1833-1897)
(Arr. A. Goraguer / C. Lemesle)
Sung in French
Publishing : Raoul Breton

- 12 キリエ [3:00]
(ラミレス：《ミサ・クリオージャ》より)

KYRIE

(Vidal - Baguala / Misa Criolla)
Ariel Ramirez (1921-)
Sung in Spanish
Publishing : Pigal Ediciones Musicales

13 時には [3:05]
(ビゼー：歌劇《真珠とり》より)

KAMIA FORA

(From the opera: Les Pêcheurs de Perles)
Georges Bizet (1838-1875)

Arranger : (Arr. A. Goraguer / A. Dimitrouka)

Sung in Greek

Publishing : Raoul Breton

14 バラの花咲く野原 [3:00]

(シュトルツ)

AUF DER HEIDE BLÜH'N DIE LETZEN ROSEN

Robert Stolz (1880-1975)

(R. Stolz - B. Balz / C. Lemesle)

Sung in German

Publishing : Wiener Boböme Verlag

15 スコットランドの花嫁 [3:55]

(ドニゼッティ：歌劇《ランメルモールのルチア》より)

LA FIANCÉE D'ÉCOSSE

(From the opera: Lucia di Lammermoor)

Gaetano Donizetti (1797-1848)

(Arr. A. Goraguer / C. Lemesle)

Sung in French

Publishing : Raoul Breton

ナナ・ムスクーリ

Nana Mouskouri (ヴォーカル)

Produced by André Chapelle

16 アヴェ・マリア [2:50]

(J.S. バッハ／グノー)

AVE MARIA

(From Prelude No.1 J.S. Bach)

Charles Gounod (1818-1893)

(Arr. A. Goraguer)

Sung in Latin

Publishing : Raoul Breton

17 ハミング・コーラス [2:35]

(ブッチーニ：歌劇《蝶々夫人》より)

THE HUMMING CHORUS

(From the opera: Madama Butterfly)

Giacomo Puccini (1858-1924)

Vocalizing

Publishing : Casa Ricordi

18 天使マリア [3:45]

(ヴェルディ：歌劇《運命の力》より)

LA VERGINE DEGLI ANGELI

(From the opera: La Forza del Destino)

Giuseppe Verdi (1813-1901)

(Arr. A. Goraguer)

Sung in Italian

Publishing : Raoul Breton

喜びの歌〜クラシック名曲集／ナナ・ムスクーリ

ナナ・ムスクーリの名前に接するのは何年ぶりだろう……。はっきりとした答えを得ぬままに聴き始めたこの新作だが、以前にも増してエモーショナルな魅力が感じられて、ナナの時代が変わらず続いていること、この流れはそのまま21世紀へつながって行くであろうことを実感した。

本アルバムが、1989年の“Classical”（邦題は《白鳥の歌〜クラシック名曲集》）の続編、乃至、パート2的コンセプトで作られたものであることは、曲目リストを一瞥しただけで明らかだが、聴き終われば誰もが前作以上の傑作であることを認めることになるだろう。世界のトラディショナル曲から、ヒット・ポップス、映画やミュージカルの音楽、ラテン調の曲、オリジナル曲、クラシカル曲……など非常にレパートリーの広いナナだが、最もフィットするのはこのようなクラシック曲ではないか、と思えるほど……。

ところで、近況も含めてナナ・ムスクーリの歩みをまとめておくことにしよう。

ナナ・ムスクーリは、1936年10月13日にギリシャの首都アテネで生まれた。持ち前の美声（特にその高音！）を生かすべく、51年にアテネ音楽院に入り、声楽を学ぶ（同時にピアノや和声の勉強もしたという）。しかし、学業半ばでアルバイト的にジャズ・ソングを歌っているところを教授に目撃され、学校を追放された。ナナは、ほどなくしてアテネのバー「ザキ」で歌い始める。もう立派なプロの歌手である。ここで客として来っていた作曲家マノス・ハジダキス（映画『日曜はダメよ』

で日本でも知られる）が、彼女の歌を認めてその後長く支援を続けた。

1959年に、ナナは初めてレコーディングを行った。翌年ギリシャを訪れた歌手のハリー・ベラフォンテも彼女の歌に魅せられたひとりで、64年に彼女をアメリカに招き、コンサート・ツアーに同行させ、65年にはデュエット・アルバム“An Evening with Belafonte / Mouskouri”を作った。なお、このアルバムはビルボード誌の全米アルバム・チャートの124位にランクされ、彼女の名前が世界のポピュラー音楽ファンに知れ渡るきっかけになった（ついでに記せば、ナナのアルバムでアメリカのチャートに入ったのは、これ以外には91年141位の“Only Love”というベスト盤だけ。異常に少ない……）。

その後のナナは順風満帆、フランスを本拠地にしたこともあり、ギリシャだけでなく、ヨーロッパ全国を代表する大スターになって行った。59年にハジダキス作曲の「アテネの白いバラ」がドイツのヒット・チャートにランク・イン、61年にブズーキ奏者のジョルジュ・ベツィラスと結婚、62年にはパリ・オランピア劇場にデビュー、67年にフランスAC Cディスク大賞を獲得……と年表のように書き連ねて行くと、それだけで与えられたページを使い切ってしまうので止めるが、あと少し最重要事項を記せば、63年にユネスコが難民救済のチャリティ・レコードを制作するにあたり、ナナをメンバーに加えたこと（これが縁で、ユニセフ〜国連児童基金の大使に任命された）、彼女が初めて日本公演を行った

のが74年であったこと、そして彼女に初めて英語盤アルバムを作らせた(62年)のが、かのクインシー・ジョーンズであったこと、などである。

さて、本アルバムである。ナナがクラシック音楽に対して深い愛情と理解を有していることは、彼女の歩みや、発表してきたアルバムをチェックすれば誰にでも分かるが、前作『白鳥の歌』同様、今回も7カ国語で歌うという「歌詞」に対する興味と、その見事な仕上がりは、実際にこのCDを聴いた人でないと分からない……。

なお、本作のレコーディングは1999年、パリで行われた。バックのシンフォニック・オーケストラを指揮しているのは、フランク・ガリである。

① フィールド・オブ・ラヴ (オフエンバック：歌劇《ホフマン物語》より「ホフマンの舟歌」)

フランスのオペレッタ作家が手懸けた唯一の、しかも未完に終わった歌劇のお馴染みの旋律がオープニングを飾る。“おお恋の夜”という曲名からこの「フィールド・オブ・ラヴ」への変化は納得できるだろう。まずは英語の歌詞をご堪能あれ。

② 愛のジブシー (ヴェルディ：歌劇《椿姫》より「ジブシーの合唱」)

あまりにも有名な歌劇の、魅惑のナンバーがコーラスと共に歌われる。イタリア語か？と思う人に、意表を衝く(?)フランス語歌詞がどう受け取られるか……。

③ その灯り (チャイコフスキー：歌劇《スベードの女王》より)

ギリシャ語で歌われるチャイコフスキー作

品。トランプ賭博に熱中する余りに破滅してしまう主人公と地中海の“青”のイメージとが、どう重なり合うのか、聴いてのお楽しみといったところ。ナナの貫禄を感じる1曲。

④ サンクトゥス (ラミレス：《ミサ・クリオージャ》より)

作者はアルゼンチンの人(1921-)。63年に作った「南米大陸のミサ(ミサ・クリオージャ)」からの“神の神聖”を讃える曲。⑫でも同作品からの曲が披露される。

⑤ 風よ南へ吹け (北イングランド伝承歌)

最近大人気のアイリッシュ・ケルト系の歌曲。どこかで耳にしたメロディーのようでもあり、親しみを感じる方も多いだろう。英語で歌われている。

⑥ 天使のバン (フランク)

ベルギー生まれでパリをホームグラウンドにした作曲家、フランクは信仰心厚く、多くの宗教=教会音楽を書いている。これもそんな1曲で、1872年に発表されている。「天使の糧」という邦題でも知られる清々しい曲、ラテン語での詠唱。

⑦ モーツァルトの子守唄

ドイツ語で歌われるお馴染みの子守歌。ただし、「モーツァルトの……」という曲名とは違って、実はJ.B.フリース(1770-?)という人が1796年に作曲したもの。

⑧ 月光ソナタ (ベートーヴェン：ソナタ作品27の2)

ベートーヴェンの数あるピアノ・ソナタのうちで最もポピュラーといえるもので、1801年に作られた。ポピュラー畑では、ヘンリー・マンシーニの演奏が「ムーンライト・ソナタ」としてヒット・チャートに入ったこと

もある。ナナの歌はフランス語。

⑨ 戦勝をもたらす聖母に (セルギオス)

セルギオスが7世紀のギリシャの作曲家ということ以外の詳細は不明だが、神々しくスケール大きな歌は、一聴たちまち引き込まれる。もちろんギリシャ語で歌われる。

⑩ 喜びの歌 (ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》より)

再びベートーヴェンの作品だが、改めての説明は不要だろう。それほど有名であり、人気がある曲ということ。英語とドイツ語の二国語を効果的に使い分けて、感動を高める手法は、まさにナナの独壇場。

⑪ 青春はどこへ (ブラームス：ピアノ三重奏曲第1番より)

フランス語での歌唱。作者21才の時に作られたものだけに、晩年の作と違って若々しい魅力に溢れている、というのが一般的な評価の佳曲。

⑫ キリエ(ラミレス：《ミサ・クリオージャ》より)

⑬「サンクトゥス」と同じ作品集より。これもスペイン語で歌われ、荘厳な雰囲気聴く人を圧倒する。曲名はギリシャ語、神とキリストのあわれみを求める祈りの歌。余談だが、「ミサ・クリオージャ」をホセ・カレーラスが歌ったアルバムもある、一聴を。

⑭ 時には (ビゼー：歌劇《真珠とり》より「いつかのような暗い夜に」)

作者の出世作である《真珠とり》の第2幕で歌われるソプラノ曲。ギリシャ語による歌唱だが、このギリシャ語とラテン語が、かつて世界共通語であったことを年頭において聴けば興味はさらに増すことだろう。

⑮ バラの花咲く野原 (シュトルツ)

オペレッタ、映画音楽、ウィンナ・ワルツなどの普及、発展に寄与した作者には“花”をテーマにした曲がたくさんある。これもそんな1曲で、ドイツ語で歌われる。

⑯ スコットランドの花嫁 (ドニゼッティ：歌劇《ランメルモールのルチア》より「狂乱の場」)

ちょっとした“ロミオとジュリエット”的ストーリーの歌劇。この3幕で歌われる有名な曲にナナはフランス語で挑戦する。

⑰ アヴェ・マリア (J.S.バッハ/グノー)

グノーが伴奏部分にバッハの「平均律クラヴィア集」第1巻第1曲の〈前奏曲〉を使って作曲、共作のようなクレジットになっている。ラテン語による“天使祝詞”神々しさ。

⑱ ハミング・コーラス (ブッチャーニ：歌劇《蝶々夫人》より)

別名「舟歌」。《蝶々夫人》の第2幕第1場の幕切れで、舞台裏から流れてくる美しい調べで、月光に影絵のように映し出される登場人物の姿にかぶさる……。

⑲ 天使マリア(ヴェルディ：歌劇《運命の力》より)

18世紀のスペインを舞台にした恋と復讐の物語中、ヒロイン、レオノーラが僧達と共に聖母に祈りを捧げる……先の「愛のジブシー」と違い、今度はイタリア語での歌、改めてナナの見事な語学力に酔わされる。

(2000年6月) [宮本 啓]

1 FIELDS OF LOVE

Fields of love caressing the light
Sweet moments call yesterday
Careless dreams are filling the night
With whispers our hopes will stay

Young hearts holding hand in hand
Bring memories of the past
People then could understand
When true love comes will last

Deep memories of a youth
Seeking reasons to live
In meanings of the truth
Faith in promise to give

Rainbows of the hope to believe
Shadows of pain to forgive

And as long as the dove
Flies the skies up above
I will always believe
In fields of love

Publishing : Raoul Breton

2 L'AMOUR GIPSY

La fille est folle ou sage
Mais l'amour est toujours gipsy

Il est toujours sauvage
Sans frontières et sans merci
Il danse il lance à l'innocence l'éternel défi

フィールド・オブ・ラブ

光やさしい愛の野辺に
思い起こすは美しの時
夜は無邪気な夢に満ち
明日への希望を囁いていた

若い二人は手を取り合って
遠い時代に思いを馳せた
昔の人は知っていたのでしょう
本当の愛がいつ訪れるかを

若者は遠い記憶の中に
人生の意味を問う
真実の意味を
誓いへの信頼を

信ずべき希望の虹
許すべき苦悩の影

はるかな空を
鳩が飛ぶ限り
私は信じているわ
愛の野辺を

愛のジプシー

狂った女もクールな女もいるけど
恋はいつでもジプシー

いつも野性的で
見境がなくて容赦しない
舞いながら、純粋な心に永遠の挑戦状をたたきつける

Il est ta chance ta désespérance et ton sursis
La vie est une cage
Et l'amour un incendie

C'est la passion qui en passant
Vient frapper sur un tambourin
Et qui éclate dans ton sang
Qui dévaste tes lendemains
C'est la passion qui en passant
Met ta maison sur un volcan
Et ta raison s'envole en riant
C'est pas sa faute si
Si l'amour est gipsy
C'est la passion qui en passant
Met ta maison sur un volcan
Et ta raison s'envole en riant
C'est pas sa faute si
Si l'amour est gipsy

Libre libre et folle,
Folle fille va et vole
Vole vole fleur volage
La vie est ton message
Ivre ivre de soleil
Lis le livre des merveilles
Quand l'amour l'appelle
L'hirondelle est infidèle
Et danse danse la
Cadence de tes pas
Le ciel a tout son temps
Mais l'enfer est gitan

La fille est folle ou sage
Mais l'amour est toujours gipsy
Il est toujours sauvage

恋はあなたに与えられたチャンス、絶望、そして猶予
人生は檻
そして恋は火事

通りすがりにタンバリンを
たたくのは情熱
あなたの血液内で破裂し
あなたの明日を滅茶苦茶にする
通りすがりにあなたの家を
火山の上に乗せていくのは情熱
あなたの理性も笑いながら飛び去る
恋がジプシーなのは
あなたのせいじゃない
通りすがりにあなたの家を
火山の上に乗せていくのは情熱
あなたの理性も笑いながら飛び去る
恋がジプシーなのは
あなたのせいじゃない

自由、自由、そして狂気
狂った女が行ったり来たり
移り気な花よ、舞い踊りなさい
人生があなたのメッセージ
太陽の光を追い求めながら
魔法の本を読みなさい
恋に呼ばれた
ツバメは不実
あなたの歩調に合わせて
舞い踊る
天国はのんびりしているけど
地獄は荒くれ者の地

狂った女もクールな女もいるけど
恋はいつでもジプシー
いつも野性的で

Sans frontières et sans merci
C'est la passion qui en passant
Vient frapper sur un tambourin
Et qui éclate dans ton sang
Qui dévaste tes lendemains
C'est la passion qui en passant
Met ta maison sur un volcan

Et ta raison s'envole en riant
C'est pas sa faute si
Si l'amour est gipsy
C'est la passion qui en passant
Met ta maison sur un volcan
Et ta raison s'envole en riant
C'est pas sa faute si
Si l'amour est gipsy
Même si la fille est sage
L'amour est toujours gipsy

Publising : Raoul Breton

③ TO FOSS AFTO

To foss pou échi iénithi
Mess stin matia tin pédiki
To foss afto xana den ida
Pligi zo i ké travma
Zita to téliio thavma
ia na sorhi
Sti gi pou navagi
To foss den ida

Tha po ton palio éona echthro
Ké néa avgi tha kartéro
Na mou zestani tin kardia mou

見境がなくて容赦しない
通りすがりにタンバリンを
たたくのは情熱
あなたの血液内で破裂し
あなたの明日を滅茶苦茶にする
通りすがりにあなたの家を
火山の上に乗せていくのは情熱

あなたの理性も笑いながら飛び去る
恋がジブシーなのは
あなたのせいじゃない
通りすがりにあなたの家を
火山の上に乗せていくのは情熱
あなたの理性も笑いながら飛び去る
恋がジブシーなのは
あなたのせいじゃない
女がクールでも
恋はいつでもジブシー

その灯り

こどもの頃の瞳の中に
生まれた灯り
その灯り 再び見ることはない
傷つきながら生き
絶対の奇跡を求め
挫折した大地で
助かるために
灯りはもう見えない

過ぎた世紀を敵と呼ぼう
そして あたらしい夜明けを待とう
この心を温めてくれるよう

Na vgo aptin orfania
Ké san tin pio mégalí mana
Nagonisto
Ké na thissiaosto
Gia ta pédia mou

Publising : Raoul Breton

④ SANCTUS

Santo santo santo
Señor dios del universo
Santo santo santo
Señor dios del universo
Llenos están los cielos
Y la tierra de tu gloria
Llenos están los cielos
Y la tierra de tu gloria

Santo santo santo
Señor dios del universo
Santo santo santo
Señor dios del universo
Llenos están los cielos
Y la tierra de tu gloria
Llenos están los cielos
Y la tierra de tu gloria
Josana en las alturas
Josana en las alturas
En el nombre del señor

Josana en las alturas

Publising : Pigal Ediciones Musicales

ひとりぼっちから抜け出して
長老の母として
戦おう
そして命を捧げる
わたしの子どもたちのために

サンクトゥス

聖らかな 聖らかな 聖らかな
宇宙の主、神よ
聖らかな 聖らかな 聖らかな
宇宙の主、神よ
天界は、また大地は
あなたの栄光に満ちております
天界は、また大地は
あなたの栄光に満ちております

聖らかな 聖らかな 聖らかな
宇宙の主、神よ
聖らかな 聖らかな 聖らかな
宇宙の主、神よ
天界は、また大地は
あなたの栄光に満ちております
天界は、また大地は
あなたの栄光に満ちております
天の高みに登れがりますように
天の高みに登れがりますように
主の御名のもとに訪れる御方に

天の高みに登れがりますように

5 BLOW THE WIND SOUTHERLY

Blow the wind southerly southerly southerly
Blow the wind south o'er the bonnie blue sea
Blow the wind southerly southerly southerly
Blow bonnie breeze my lover to me

They told me last night there were ships in the offing
And I hurried down to the deep rolling sea
But my eye could not see it wherever might be it
The bark that is bearing my lover to me

Blow the wind southerly southerly southerly
Blow the wind south o'er the bonnie blue sea
Blow the wind southerly southerly southerly
Blow bonnie breeze and bring him to me

Is it not sweet to hear the breeze singing
As lightly it comes o'er the deep rolling sea
But sweeter and dearer by far 't is when bringing
The bark of my true love in safety to me
Blow bonnie breeze and bring him to me

Publishing : Raoul Breton

6 PANIS ANGELICUS

Panis angelicus
Fit panis hominum
Dat panis coelicus
Figuris terminum
O res mirabilis
Manducat Dominum
Pauper pauper

風よ南へ吹け

南風よ、吹け、吹け、吹け
南風よ吹け、美しく蒼い海に
南風よ、吹け、吹け、吹け
風よ連れ戻してくれ、我が恋人を

昨夜船が出たと誰かが教えてくれた
私は荒れる海へと急いだけれど
もう船の姿はどこにも見えなかった
海鳴りよ、愛する人を連れ戻してくれ

南風よ、吹け、吹け、吹け
南風よ吹け、美しく蒼い海に
南風よ、吹け、吹け、吹け
風よ連れ戻してくれ、我が恋人を

深く荒れ狂う海を越えてやって来る
風音が耳に心地いい
風はやさしく吹く風だけれど
どうか愛する人を安全に連れ戻してくれ
やさしい風よ、どうかあの人を連れ戻してくれ

天使のパン

天使のパンは
人のパンとなり
天使のパンは
世に命を与う
おお 驚くべきかな
彼ら主の御体を食す
貧しき者、乏しき者

Servus et humilis
Pauper pauper
Servus et humilis

Panis angelicus
Fit panis hominum
Dat panis coelicus
Figuris terminum
O res mirabilis
Manducat Dominum
Pauper pauper
Servus et humilis
Pauper pauper
Servus et humilis

Publishing : Raoul Breton

下僕 卑しき者
貧しき者、乏しき者
下僕 卑しき者

天使のパンは
人のパンとなり
天使のパンは
世に命を与う
おお 驚くべきかな
彼ら主の御体を食す
貧しき者、乏しき者
下僕 卑しき者
貧しき者、乏しき者
下僕 卑しき者

7 SCHLAFE MEIN PRINZCHEN

Schlafe mein Prinzchen schlaf ein
es ruh'n Schäfchen und Vögelein
Garten und Wiesen verstummt
auch nicht ein Bienchen mehr summt
Luna mit silbernem Schein
gucket zum Fenster herein
schlafe bei ailvernem Schein
Schlafe mein Prinzchen schlaf ein
schlaf ein schlaf ein
schlaf ein schlaf ein

Auch in dem Schlosse schon liegt
alles in Schlummer gewiegt
Reget kein Mäuschen sich mehr
Keller und Küche sind leer

モーツァルトの子守唄

ねむれ良い子よ
ひつじも小鳥も眠り入り
庭と野原も沈黙し
はち一匹飛んでいない
銀色に輝く月が
窓からこちらを覗いている
うつろな月明かりの中で
ねむれ良い子よ、ねむりなさい
ねむれ良い子よ
ねむりなさい

お城の者もみんな
深い眠りにつき
ねずみ一匹動いていない
地下倉庫も台所も空で

nur aus der Zofe Gemach
tönet ein schmelzendes Ach
was für ein Ach mag das sein
Schlafe mein Prinzchen schlaf ein
schlaf ein schlaf ein
schlaf ein schlaf ein
Wer ist beglückter als du
nichts als Vergnügen und Ruh
Spielwerk und Zucker vollauf
und auch Karossen im Lauf
Alles besorgt und bereit
daß nur mein Prinzchen nicht schreit
was wird da künftig erst sein
Schlafe mein Prinzchen schlaf ein
schlaf ein schlaf ein
schlaf ein schlaf ein

Publishing : Raoul Breton

⑧ CLAIR DE LUNE

Clair de lune
À Schönbrunn
L'histoire
S'endort
Clair de lune
Qui s'allume
Ranime un ancien décor
Un prince d'antan
Il a vingt ans
Et il rêve d'un aigle et d'un pays
Clair de lune
À Schönbrunn
Il s'ennuie

侍女の部屋から
アーという甘い声がこぼれてくるだけ
あれはいったい何の声？
ねむれ良い子よ、ねむりなさい
ねむれ良い子よ
ねむりなさい
君のような幸せものはいない
楽しみと安らぎ
玩具とお菓子
馬車だっていつも
準備されている
可愛い王子さまが泣かないように、と
今度は何がもらえるかな？
ねむれ良い子よ、ねむりなさい
ねむれ良い子よ
ねむりなさい

月光ソナタ

月明かりの
シェーンブルンにて
歴史が
ねむりにつく
月明かりが
昔の背景を
よみがらせる
いにしえの王子
20年前の人
彼は一羽の鷹とある国を想う
月明かりの
シェーンブルンにて
王子は退屈して

Alors il s'en va
Vers autrefois
Loin des brumes
De Schönbrunn
La gloire l'attire
Mais ses jours se consomment
Et il sait qu'il va mourir
Clair de lune
À Schönbrunn

Publishing : Raoul Breton

⑨ TI IPERMAKO

Ti ipermako stratigo ta nikitiria
Os litrothisa ton dinon efcharistiria
Anagrafo si i polis sou theotoke

Alos ehousa to kratos aprosmachito
Alos ehousa to kratos aprosmachito
Ek pandion me kindinon eleftheroson

Ina krasosi heré nymfi anymféfé
Ina krasosi heré nymfi anymféfé

Publishing : Raoul Breton

⑩ COME AND SING

Come and sing a song of joy
For peace a glory gloria

去っていく
過去の世界へ
シェーンブルンの
遙から遠く離れた彼方で
栄光が彼を呼び寄せる
だが憔悴した王子は
死期が迫っているのを知っている
月明かりの
シェーンブルンにて

戦勝をもたらす聖母に

*聖母賛歌（直訳すると「起立賛歌」。聖母賛歌は起立したまま、歌ったり聴いたりすることから）：総主教セルギオス作

戦いを勝利に導く將軍よ
苦難から解き放してくれてありがとう
神の母よ あなたにこの都市を捧げよう

この国が戦いに敗れぬよう守ってくれるから
この国が戦いに敗れぬよう守ってくれるから
あらゆる難から我々を解き放してください

あなたを聖なる母と慕い敬うから
あなたを聖なる母と慕い敬うから

喜びの歌

さあ、喜びの歌を歌おう
平和を祈る栄光のグローリア

Sing this song of hope rejoice
For freedom hallelujah
Angel voices pray for wisdom
Heaven sends eternity
Come and sing the song of joy
For glory hallelujah
Angel voices pray for wisdom
Heaven sends eternity
Come and sing the song of joy
For glory hallelujah

Freude, schöner Götterfunken
Tochter aus Elysium
Wir betreten feuertrunken
Himmliche, dein Heiligtum
Deine Zauber binden wieder
Was die Mode streng geteilt
Alle Menschen werden Brüder
Wo dein sanfter Flügel weilt

Deine Zauber binden wieder
Was die Mode streng geteilt
Alle Menschen werden Brüder
Wo dein sanfter Flügel weilt

Come and sing a song of joy
For peace a glory gloria
Sing this song of hope rejoice
For freedom hallelujah
Angel voices pray for wisdom
Heaven sends eternity
Come and sing the song of joy
For glory hallelujah
Angel voices pray for wisdom
Heaven sends eternity

さあ、この希望の歌を歌おう
自由のためのハレルヤ
天使の祈りが聞こえてくる
天が永遠の命を授けてくれる
さあ、喜びの歌を歌おう
栄光のハレルヤ
天使の祈りが聞こえてくる
天が永遠の命を授けてくれる
さあ、喜びの歌を歌おう
栄光のハレルヤ

喜びよ、美しき神々の稲妻よ
天国の乙女よ
我々は熱い想いを胸に
あなたの天上の神殿に踏み入る
あなたの魔法は人々の慣習が
断絶せしめるものを再び結びつける
あなたの優しい翼のもとで
すべての者は兄弟となる

あなたの魔法は人々の慣習が
断絶せしめるものを再び結びつける
あなたの優しい翼のもとで
すべての者は兄弟となる

さあ、喜びの歌を歌おう
平和を祈る栄光のグローリア
さあ、この希望の歌を歌おう
自由のためのハレルヤ
天使の祈りが聞こえてくる
天が永遠の命を授けてくれる
さあ、喜びの歌を歌おう
栄光のハレルヤ
天使の祈りが聞こえてくる
天が永遠の命を授けてくれる

Come and sing the song of joy
For glory hallelujah
Publishing : Raoul Breton

III OÙ VA LA JEUNESSE

Où va la jeunesse
Quel vent l'emporte
Est-ce qu'elles renaissent
Les feuilles mortes
Dans quel astre blanc
Vont nos rires d'enfants
Vers quelle ombre immense
Nos espérances
Ont-elles pris nos cerfs-volants
La tendre jeunesse
Envie le printemps
Qui passe et nous laisse
Mais qui revient sans cesse
La beauté du diable
N'est qu'un grain de sable
Où vont nos désirs
Et nos plaisirs
Nul ne peut les saisir
Oui mais la jeunesse
Ce frisson d'une heure
Qui passe et nous laisse
Toujours demeure
Au fond du cœur
Publishing : Raoul Breton

さあ、喜びの歌を歌おう
栄光のハレルヤ

青春はどこへ

青春は何処へ？
青春を運び去る風は？
枯葉は
生き返るの？
子供の頃の笑い声は
どの白い惑星へと消えゆくの？
希望は
どのような巨大な影の中に
私たちの風を
持っていつてしまったの？
淡い青春が
春を漢んでいる
春は私たちを残したまま過ぎ去っていく
けれど、幾度も戻ってくる
悪魔の美しさは
一粒の砂にすぎない
欲望と
喜びは何処へ？
それを掴める者はいない
そう、でも青春は
私たちを置き去りにする
ひとときのあの震えるような想いは
いつまでも
この心の奥に残る

12 KYRIE

Señor ten piedad de nosotros
Señor ten piedad de nosotros
Señor ten piedad de nosotros

Cristo ten piedad de nosotros
Cristo ten piedad de nosotros
Cristo ten piedad de nosotros

Señor ten piedad de nosotros
Señor ten piedad de nosotros
Señor ten piedad de nosotros

Publishing : Pigal Ediciones Musicales

13 KAMIA FORA

Kamia fora pou sé thimamé
To foss pou vlépo to fovamé
Afou mazy den ton kitamé
Ton ilio kamia fora
Ki in ola trigyro grizès skiès
Tholès grizès skiès trèlès
Kamia fora
Sagapao kryfa

Kamia fora kanis den xéri
To pos ké possa tha yopoféri
An tis kardias to kalokéri
Pagossi sta xafnika
Chimonè tha rthoune chionia ki ochrès
Psychiès chionia ki ochiès psychiès
Kamia fora

キリエ

主よ、われらを憐れんでください
主よ、われらを憐れんでください
主よ、われらを憐れんでください

キリストよ、われらを憐れんでください
キリストよ、われらを憐れんでください
キリストよ、われらを憐れんでください

主よ、われらを憐れんでください
主よ、われらを憐れんでください
主よ、われらを憐れんでください

時には

時にはあなたを思い出して
見ている灯りがこわくなる
だって、時にはいっしょに
太陽を見ないから
辺りのものはすべて灰色の影
濁った灰色の 狂ったような影
時には
人知れずあなたを愛す

時には 誰も知らない
どんなに、どれほど耐え忍ぶ
夏の盛りに
突然寒くなった
冬が来る 雪と雨
心の雪 心の雨
時には

Sagapao kryfa
Kamia fora
Sé misso fanéra

Publishing : Raoul Breton

人知れずあなたを愛す
時には
これ見よがしにあなたを憎む

14 AUF DER HEIDE BLÜH'N DIE LETZEN ROSEN

Auf der Heide blüh'n die letzten Rosen
braune Blätter fallen müd' vom Baum
Und der Herbstwind küßt die Herbstzeitlosen
mit dem Sommer flieht manch Jugendtraum
Möcht' einmal noch wie damals kosen
möcht' vom Frühling träumen und vom Glück
Auf der Heide blüh'n die letzten Rosen
ach die Jugendzeit kehrt nie zurück

Versunken ist
die Frühlingszeit
kein Vogel singt im Lindenhain
die Welt verliert ihr Blütenkleid
und bald wird Winter sein
Verlassen ist der holde Strauch
an dem ich einst geküßt
es blieb ein Duft, der wie ein Hauch
aus fernen Tagen ist

Auf der Heide blüh'n die letzten Rosen
braune Blätter fallen müd' vom Baum
Und der Herbstwind küßt die Herbstzeitlosen
mit dem Sommer flieht manch Jugendtraum
Möcht' einmal noch wie damals kosen
möcht' vom Frühling träumen und vom Glück

バラの花咲く野原

野に咲く最後の薔薇の花
茶色の葉がくたびれて木から落ち
秋風がイスサフランに抱擁する
夏の終わりとともに過ぎ去っていく青春の夢
もう一度、かつてのように接吻したい
春と幸せの夢をみたい
野に咲く最後の薔薇の花
ああ、青春は二度と返ってこない

春はもはや
消え去ってしまった
菩提樹の上で鳴く鳥もなく
世界は花の衣装を失い
じき冬がやってくる
私がかつて抱擁をした
美しい木も寂しげに立っている
はるか昔の日々に感じた
吐息のような香だけが残る

野に咲く最後の薔薇の花
茶色の葉がくたびれて木から落ち
秋風がイスサフランに抱擁する
夏の終わりとともに過ぎ去っていく青春の夢
もう一度かつてのように接吻したい
春と幸せの夢をみたい

Auf der Heide blüh'n die letzten Rosen
ach die Jugendzeit kehrt nie zurück

Holde Jugend, holde Jugend
kämst du einmal noch
zu mir zurück

Publishing : Wiener Bohème Verlag

15 LA FIANCÉE D'ÉCOSSE

La folie s'invite aux noces
De la fiancée d'Ecosse
La folie est là lorsque malgré soi
Le destin nous lie à qui l'on n'aime pas
Des légendes
Courent la lande
Et Lucia se demande
Se demande si la vie un jour
Aura pour elle moins de haine que d'amour
Et la fiancée d'Ecosse
S'invente d'autres noces
Au soleil de l'Italie
Et la fiancée d'Ecosse
Se danse d'autres noces
Où la passion s'invite au lieu de la folie

Il est des malheurs précoces
Au delà des mers d'Ecosse
Cette enfant d'Afrique de dix sept ans
Va offrir son corps à son cœur défendant
Sœur humaine
Sœur moderne
De Lucia la lointaine

野に咲く最後の薔薇の花
ああ、青春は二度と返ってこない

美しき青春、美しき青春よ
もう一度だけ
戻ってきてはくれないか

スコットランドの花嫁

スコットランドの花嫁の
結婚式に狂気の神が参列した
運命により、好きでもない相手と結ばれるとき
狂気はやってくる
荒野に伝わる
数々の伝説
ルチアは自問する
憎しみよりも愛を感じられる日が
いつか来るのだろうか、と
そしてスコットランドの花嫁は
イタリアの太陽の下で
異なる結婚式をあげている自分を思い描く
そしてスコットランドの花嫁は
異なる結婚式で舞いはじめる
情熱の神が参列する狂気の結婚式

スコットランドの海のむこうで
若い娘を襲った不幸の物語
17歳のアフリカの娘は
自分を守ろうとする心に己の身体を捧げる
今に生きる
遠い昔のルチアと
同じ運命の娘

Elle aliène tout sa liberté
Ses espérances sa jeunesse et sa fierté
Comme la fiancée d'Ecosse
Elle rêvait d'autres noces
D'un amour à l'infini
Comme la fiancée d'Ecosse
Et sa raison divorce
Tout doucement avec le reste de sa vie

Publishing : Raoul Breton

16 AVE MARIA

Ave Maria
Gratia plena
Dominus tecum
Benedicta tu
In mulieribus
Et benedictus
Fructus ventris tui Jesus
Sancta Maria
Sancta Maria Maria
Ora pronobis
Nobis peccatoribus
Nunc et in hora
In hora mortis nostrae
Amen
Amen

Publishing : Raoul Breton

娘は自分の自由も
希望も若さも誇りも捨ててしまう
スコットランドの花嫁のように
彼女も異なる結婚を夢見ていた
永遠の愛の結婚を
スコットランドの花嫁のように
そして娘の正気は次第に
娘に残された命とともに失われていく

アヴェ・マリア

めでたし マリア
恩寵満ちたるお方
主は御身とともにましまし
御身は女人の中にて
祝せられ
また祝せられたもう
御身の胎内の御子 イエスも
聖なるマリアよ
聖なるマリア、マリアよ
祈りたまえ
罪人なる我らのため
今も そして
我らの臨終の時にも。
アーメン
アーメン

17 THE HUMMING CHORUS

Vocalizing

Publishing : Casa Ricordi

ハミング・コーラス

(ヴォーカライズ)

18 LA VERGINE DEGLI ANGELI

La vergine degli angeli
Mi copra del suo manto
E me protegga vigile
Di dio l'angelo santo

La vergine degli angeli
E me protegga me protegga
L'angiol di dio
E me protegga
L'angiol di dio
Me protegga
E me protegga

Publishing : Raoul Breton

天使マリア

天使を従えた聖母様が
そのマントにわたしを包みたまうことを
そしてまたわたしを優しく守護してくれるよう
神のお使いの聖なる天使が

天使を従えた聖母様が
わたしを守りたまうことを
神のお使いの天使が
わたしを守護してくれるよう
神の天使が
わたしを守護してくれるよう
わたしを守護してくれるよう

訳 : Kuni Takeuchi (1, 5)

岡本和子 (2, 7, 8, 10, 11, 14, 15)

ビジネス日本語協会【BNA】(3, 9, 13)

濱田滋郎 (4, 12)

小瀬村幸子 (6, 16, 18)

取り扱い上のご注意●ディスクは両面とも、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。●ディスクは両面とも、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないでください。●ひび割れや変形、または接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないでください。保管上のご注意●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないでください。●ディスクは使用后、もとのケースに入れて保管してください。●プラスチック・ケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

SYMPHONIC ORCHESTRA DIRECTED BY :

Franck Gali
Solo violin :
Alain Kouznetzoff
Solo piano :
Raymond Alessandrini

ARRANGEMENTS AND KEYBOARDS : (9, 10)

Luciano Di Napoli

WITH :

Les Chœurs de France

DIRECTED BY :

Jean-Claude Oudot
and
Evelyne Lagarde

PHOTOS :

Dinos Diamantopoulos

MAKE-UP :

Achilleas Charitos

RECORDED AND MIXED AT :

Guillaume Tell Studios - Paris - France

SOUND ENGINEER :

Roland Guillotel

ASSISTED BY :

Jérôme Devoise
Stéphane Briand
Denis Caribaux

INTERNATIONAL COORDINATION :

Pierre Satgé

EXECUTIVE PRODUCER :

Jean-Yves Billet
Design : ew intégral

MUSICAL DIRECTOR :

Alain Goragner

PRODUCED BY :

André Chapelle